

フィデューシャリー・デューティーの具体的取組事項にかかる 2023 年度取組実績

取組方針および具体的取組事項	2023 年度通期取組実績
<p><b>方針 1 : 「お客さまの最善の利益の追求」</b></p>	
<p>○企業と投資家の間に長期の信頼関係を構築するための施策を講じます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 方針 3 に記載の投資家等とのコミュニケーションによる長期の信頼関係構築を継続。</li> <li>▶ 企業とのエンゲージメント面談や 1 on 1 ミーティングをのべ 90 先と実施（国内 47 先、海外 43 先）</li> </ul>
<p>○企業価値の徹底した分析に基づく評価とその創造への提言の能力を備えた人財の育成のための施策を講じます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 昨年同様、教育機関により提供されるプログラムを若手職員に受講させ、企業価値評価、投資戦略等のスキル、ノウハウ蓄積に努めた。</li> <li>・ Aurea Lotus 社主催の『ファイナンス理論を徹底的に学ぶ 2023～経営者の財務的思考～』（バリュウー投資の基礎理論および企業分析事例の講義）に若手職員がのべ 5 名参加（5 月、8 月、11 月）。</li> </ul>
<p><b>方針 2 「利益相反の適切な管理」</b></p>	
<p>○利益相反管理の有効性・適切性の検証の中で、当社の業務特性を踏まえた利益相反回避のための適切な方法を採用いたします。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 利益相反管理方針に基づく管理を継続し、親会社等の役員を兼務する取締役、および親会社からの出向者に対し、不当な影響力行使や情報の守秘についての誓約書を受領。また、所属する役職員全員から内部者取引等防止に関する確約書を受領。</li> <li>○利益相反にかかる誓約書受領 親会社から当社に着任した出向者 5 名、兼務役員 2 名</li> <li>○内部者取引防止確約書受領 新規で当社に着任した役職員 13 名から受領</li> <li>▶ その他、弊害防止措置にかかる社内研修を実施</li> <li>○社内研修 弊害防止措置（2024 年 3 月）</li> </ul>

取組方針および具体的取組事項

2023 年度通期取組実績

方針3 「報酬へのご理解」

○お客さまに定期的に実施する運用報告のほか、年次総会などの機会を通じて、当社の活動の内容をお客さまにご理解いただくための活動を実施いたします。

- ▶ 個人投資家向け年次総会を12月9日に味の素社のクライアント・イノベーション・センター（川崎市）にて実施。運用報告および味の素社への投資仮説の説明の他、同社藤江社長と奥野 CIO との対話セッション、同センターの見学会を実施。

総会後のアンケートでは対話セッションで95.1%、見学会で100%の満足度となったほか、「社長のお話を直接聞いてアミノ酸への情熱を実感」「施設見学では若手社員の方から熱意ある丁寧な説明が聞いて技術の力を実感」との意見をいただいた。

現地参加：30名

オンライン参加：150名

- ▶ 機関投資家向け年次総会を12月6日に開催。当日は2部構成とし、第1部では運用状況報告等、第2部では投資先企業エフピコ社の関東工場および関連施設見学、同社によるプレゼンテーション、同社専務と奥野 CIO とのディスカッションを実施（参加者20名）。

- ▶ オンラインによる月次報告会を今年度も以下のとおり継続実施している。

おおぶねメンバーズカンファレンス実績	
合計 12 回実施（4/28, 5/31, 6/23, 7/26, 8/31, 9/20, 10/27, 11/29, 12/27, 1/26, 2/20, 3/27	

方針4 「分かりやすい情報提供とお客さまにふさわしいサービスの提供」

○インベストメントチェーンの一員として運用会社様および販売会社様と連携し、各種メディアも通じて広く長期厳選投資の意義を伝えるための活動を実施

- ▶ 長期厳選投資の意義を伝えるため、主として以下の活動を実施。

活動実績	
販売会社等	合計 8 回（楽天証券（3 回）、SBI 証券（2 回）、岡三証券、三縁証券、マネックス証券

取組方針および具体的取組事項	2023 年度通期取組実績	
<p>いたします。</p>	<p>学生・学校向け講義</p>	<p>合計 9 回（京大（2 回）、慶大、東大、千葉県教員向け、土佐中、京都教育懇話会、東濃実業高、洛南高附中）</p>
	<p>メディア出演</p>	<p>合計 2 回（日経 CNBC、モーサテプレミアムセミナー）</p>
	<p>雑誌等掲載</p>	<p>合計 13 回（PIVOT（6 回）、日経（3 回）、プレジデント、日経ヴェリタス、NewsPicks Video など）</p>
	<p>その他</p>	<p>合計 38 回（JA 等向け（35 回）、金融教育学会、全国農業経営者研究大会など）</p>
<p>○当社が組成する金融商品の特性を踏まえ、ご購入いただく対象として想定するお客さまの属性を特定・公表いたします。</p>	<p>▶ 当社が組成する公募 2 ファンドについて想定するお客さまの属性を特定し、ホームページにより公表を継続。</p>	
<p><b>方針 5 「従業員に対する適切な動機づけの枠組み」</b></p>		
<p>○教育・研修等を通じ、すべての役職員がフィデューシャリー・デューティー遵守の意識を共有するとともに、業績評価体系にお客さまのニーズ・利益に真に適う取組みに焦点を当てた評価項目を設けます。</p>	<p>▶ 四半期初の全体会議等において、当社の設立趣旨である「価値に基づく資本配分を通じた経世済民の実現」に向けた 3 つのステークホルダーに対する価値実現の目標について、全職員で共有することを継続。</p> <p>▶ 上記ステークホルダーに対する価値実現を目指すべく、主体的かつ相乗的に価値認識・実現できる職員をコンピテンシーとして評価するプロパー職員人事評価制度を適用中。</p>	
<p>○お客さまの信認に応えることを最優先事項として掲げ、役職員個人としての投資助言残高等の追求は業務上の目標として設定はいたしません。</p>	<p>▶ お客さま本位の取組を最優先事項とし、投資残高等に基づく個人のインセンティブ目標は設定していないことを目標設定時に確認。</p>	